令和２年度　事業報告書

社会福祉法人　山坂福祉会

特別養護老人ホーム　　やまさわの里
短期入所生活介護　　やまさわの里
デイサービスセンター　やまさわの里
居宅介護支援事業所　　やまさわの里

目　次

1. 施設の概要と活動状況・・・・・・・・・・・・・・・・・2
2. 特養部門・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
3. 看護部門・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
4. 栄養部門・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
5. 短期入所介護事業所（ショートステイ）・・・　10
6. 通所事業所（デイサービス）・・・・・・・・・・・　11
7. 居宅介護事業所（ケアマネージャー）・・・　13

理念

私たちは、利用者のために、
利用者及び家族の
「心からのありがとう」
という言葉に支えられ、
「心からの笑顔で」
介護サービスに努める

1. 施設概要と活動状況

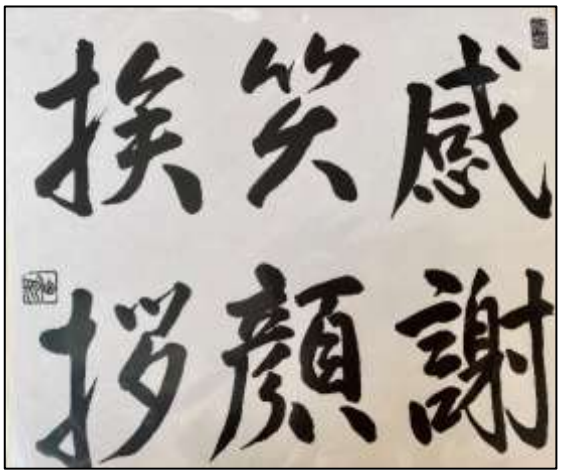
施設概要

◇ 運営主体社会福祉法人山坂福祉会

◇ 施設の種類・名称指定介護老人福祉施設やまさわの里

理事長　野原　哲夫

施設長　尾﨑　隆



◇ 所在地栃木県真岡市熊倉町3435－1

TEL0285－81－1188

◇ 法人設立年月日平成13年6月25日

施設設置許可日平成14年5月1日

◇ 入所定員50名　短期入所10名　計60名

◇ 通所介護定員35名

◇ 敷地面積7.107㎡

◇ 建物の構造・規模鉄筋コンクリート造

平屋建　2614.52㎡

◇ 主な設備と建物の内容全館冷暖房完備火災報知システム整備

◇ 日常動作訓練器スプリンクラー排煙装置

特殊浴槽一般浴槽医務・看護室

静養室　　洗濯室厨房　　リネン室

居室（4人部屋8室、2人部屋8室、個室 12 室）等

活動状況

◇ 防災訓練

・R2.6.28（日）・・20：30-22：00　全館停電時対応訓練（夜間想定）

電気室内高圧計器用変圧変流器取替工事に伴う全館停電時間帯に実施

訓練参加職員：中番2名　夜勤2名　総務1名（防火管理者）

訓練参加利用者：特養50名　短期入所者8名

・R2.7.23（水）・・11：00-11：30　消火栓を使用した消火訓練

特養脱衣室前の消火栓ホース（長さ 20m）を使用した消火訓練を実施

訓練参加職員：10名

・R2.11.1（日）・・20：30-22：00　全館停電時対応訓練（夜間想定）

電気室内低圧計器用変圧変流器取付工事に伴う全館停電時間帯に実施

訓練参加職員：中番2名　夜勤2名　総務1名（防火管理者）

訓練参加利用者：特養50名　短期入所者7名

◇ 地域における公的な取り組み

・294 たがやしネット参加

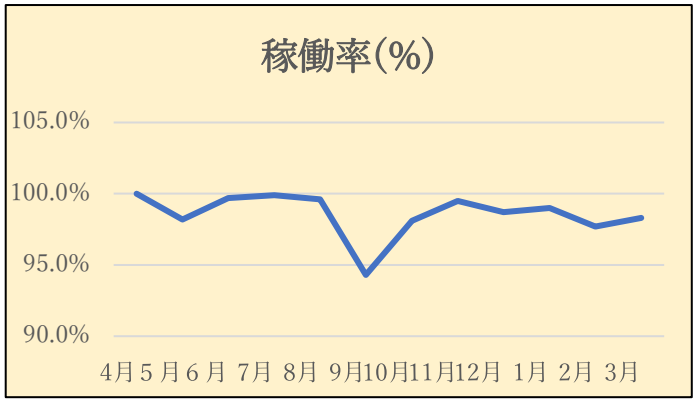
・日常生活圏協議体（真岡地区）『ず一っとすもうか真岡』職員1名派遣

・栃木県社会福祉法人による「地域における公的な取組」推進協議会　いちごﾊｰﾄﾈｯﾄ事業加盟

・熊倉 4 区合同防災訓練・・新型コロナウィルス感染症拡大防止のため中止

2. 特養部門

〈事業概況〉
・入所定員　50名
〈男性8名、女性 42 名〉
・年間稼働率 98.6%
・年間退所者数　10 名(うち看取り 5 名、急変 2 名)
・平均要介護度　4.3(R3.3)



〈活動状況〉

◇ 自立支援介護・外出支援

介護度3・4・5の利用者の自立支援として、
車椅子から椅子への座り替えや歩行ケア
疾病予防の為の口腔ケア等実施。
「うちに帰りたい」という願いをかなえる為の
在宅復帰計画を多職種協働で家族に相談。

◇ グループケア・個別ケアの実践

R2年度より、グループ分けを軽度・中度・重度とし、個別ケアを検討
本人、家族の想いを受けとることができるよう入所時のウエルカムカンファレンスを実施

右の名言は I 様の毎日のつぶやきの中から
言葉を職員が書きとめ 1 年間のものを一冊に
してご家族に差し上げました。

農園では沢山の作物を一緒に作り
元農家の T 様は枝豆を見せたら誰よりも上手に
収穫して下さる。

あめ　あめ　あめ
昨日の雨は　昨日の夢
昨日の雨は夢だった。
なんだかなんだか
永遠に　夢

ベッド中心の生活の方でも好きなコーヒーを飲み、入浴剤入りのお風呂に入り、最高齢の A 様も職員手作りのスイーツを召し上がり、穏やかに過ごされています。

◇ リスクマネジメント

重大事故として、骨折 2 件報告
新型コロナウイルス　感染リスクは回避(感染予防の 1 つとして、新規入所者の入所前 PCR 検査を R2 年度より開始)

◇ 質の高いターミナルケアの実践

実績　5 名　　看取り期では特に家族との連携が重要だが、コロナ禍にて面会の制限をすることもありました。
制限のある中、本人と家族に寄り添い、苦しみや悲しみも分かち合う介護もありました。
娘さん手作りのワンピースに身を包み、晴天の中多くの職員が見送ることができたS様。

◇ 家族との連携･行事起案

コロナ禍であっても、家族とのつながりが途絶えない様、ガラス越し面会
個別の写真付きお手紙や、個人が好む物を家族と考えたり
少しでも自宅にいた頃に近づけるよう配慮しました。

◇ 職員研修

外部研修･実績

認知症実践リーダー研修

認知症の方が穏やかに生活できるように症状に合わせたケアを行いました。

喀痰吸引等研修

◇ 委員会

【褥瘡予防対策委員会】

褥瘡発生　1名　約 50 日間で完治

些細な傷や体調不良等を、早期対応にて予防の徹底を行いました。

【レクリエーション委員会】

利用者のQOLの向上、誕生日会

◇ グループ行事

4月・・そらグループ（いちごパーティ）

いちょうグループ（いちご狩り）

5月・・いちょうグループ（お寿司）

そらグループ（プリンを食べよう会）

6月・・まつグループ（ピザパーティ）

そらグループ（ミスドパーティ）

7月・・いちょうグループ（かき氷作り）

8月・・さくらグループ（夕涼み会）

9月・・まつグループ（アイスパーティ）

10月・・まつグループ（ハロウィンパーティ）

11月・・いちょうグループ（茶道）

12月・・まつグループ（クリスマス会）

1月・・まつグループ（新春パン祭り）

2月・・そらグループ（チョコバナナクレープ）

3月・・いちょうグループ（パンケーキ作り）

3. 看護部門

〈活動状況〉

◇ ≪数値目標入院者ゼロ≫

- 異常の早期発見によりできる限り入院者を出さないようケアをしてきましたが、予測できなかった病状もあれば再発での入院もあった。小さな症状やいつもと違う状態など再発のサインを見逃さないよう、今後も介護職と看護職連携を密にしていきたい。

◇ ≪感染症予防対策≫

- 昨年は新型コロナウイルス感染症を初めインフルエンザ、ノロウイルス等の感染症を発症することなく 1 年を終えたことは大変良かった。特にコロナウイルスに関しては引き続き感染予防の中心となって蔓延防止に努めていきたい。
- 全職員の PCR 検査を 2 回実施している。2 回とも全員陰性の結果は職員全員の努力と協力があったからである。

◇ ≪各グループに担当看護師の配置≫

- 各グループに担当看護師を配置したことで介護職から利用者の問題や体調の変化の報告が上がりやすく、異常の早期発見・問題の解決に繋がることが多かった。看護と介護の連携ができてきている。

◇ ≪ターミナルケア≫

- 状態悪化により病院受診し、検査の結果、末期癌の診断で余命宣告を受けた症例があった。様々な疾患の症状や病気の進行、今後起こりうる状態の悪化など看護部としてとても勉強になる症例だった。
  嘱託医の小林医師には病状から考えられる本人にとっての苦痛や家族の思いも含め、何度も御家族に説明をして頂いた。その結果、御本人・御家族に寄り添えたターミナルケアとなりました。

◇ ≪褥瘡予防対策≫

- 軽度の皮膚トラブルから褥瘡形成となってしまった症例が1件ありました。褥瘡の好発部位でもなく、栄養状態も良い利用者様だったが、小さな傷が悪化しました。介護職の日々の観察力から得られる軽度の皮膚トラブルの報告を早期対応することの重要性が分かりました。

機能訓練指導員（OT：作業療法士）

〈活動状況〉

◇ リハビリ計画の立案、実施

多職種間によるカンファレンスのもと、現在の心身機能の状態確認や ADL の遂行状況を確認しながら、一人一人に合ったリハビリプログラムを立案しました。

特に、歩行訓練では介護職員と協同のもと、週5回以上実施することで筋力の維持が図られ、ADL や基本動作の維持向上に繋がりました。機械浴から一般浴に入れるようになった利用者様もおり、自立支援が行えたと考えます。

◇ 環境づくり

介護職員や看護職員と連携しシーティングやポジショニング,車椅の調整等を行い、本人にとって安楽な姿勢がとれ、且つ皮膚トラブルがないよう支援を行いました。

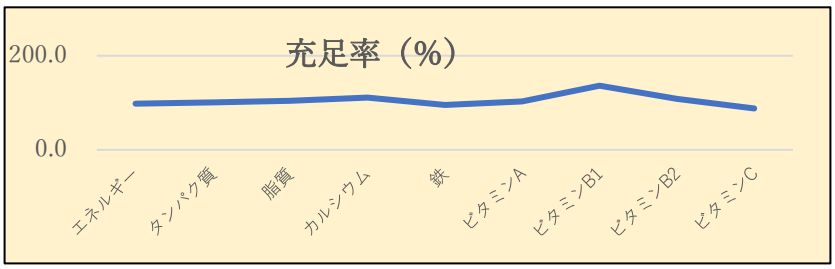
しかし、体調の急変等により突発的に臥床時間が増えた利用者様に対しての介入が不足していたと感じたため、利用者様の状態変化に応じて迅速に環境調整を行えるよう心掛けていきます。

◇ 余暇活動や QOL について

現在は関節可動域訓練や歩行訓練など直接的な身体リハビリが中心となっており、手工芸等の活動を通じた機能訓練や認知リハビリが少ないと思われます。

4. 栄養部門

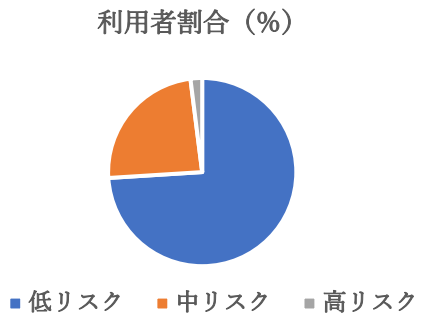
◇ 給与栄養目標量の充足状況(R2　4/1～R3　3/31　平均)



	給与目標栄養量	一日平均栄養摂取量	充足率(%)
エネルギー	1650	1623	98.4
タンパク質	60	60.5	100.8
脂質	36	37.6	104.4
カルシウム	650	722	111.1
鉄	7	6.7	95.7
ビタミン A	730	752	103.0
ビタミン B1	1.1	1.5	136.4
ビタミン B2	1.2	1.3	108.3
ビタミン C	100	88	88.0

◇ 利用者の栄養状況(R3　3 月)

栄養リスク	利用者数(名)	利用者割合(%)
低リスク	37	74
中リスク	12	24
高リスク	1	2



毎月栄養状態のリスク判定を行い、利用者の栄養状態の情報を共有できるようにしています。

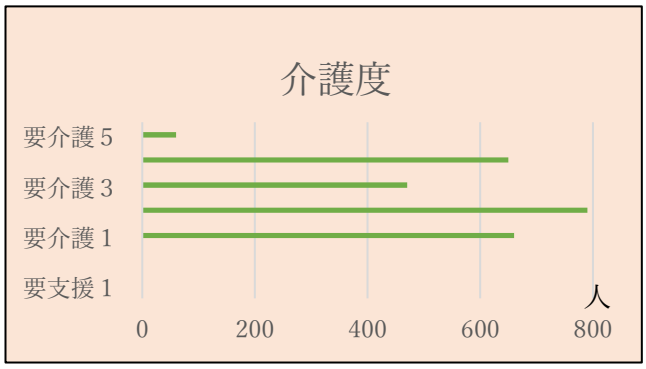
◇ 行事食と選択食の実施

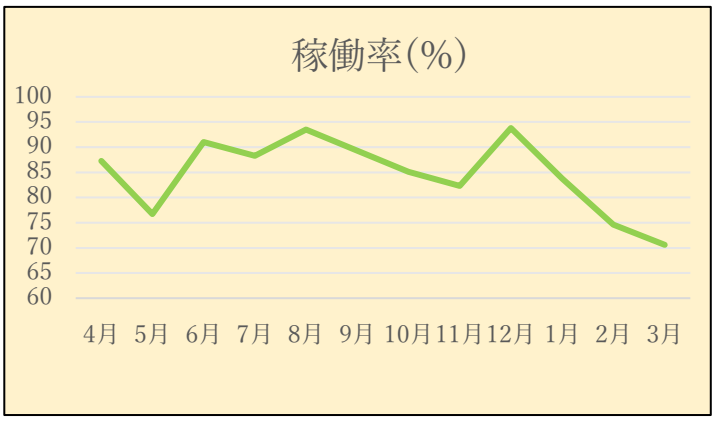
季節の行事に合わせた行事食と月1回の選択食を実施しました。
秋の手作りおやつセレクトも3回実施しました。(参考写真)
毎月給食委員会にて行事食と選択食の内容を話し合い、決定しています。

5. 短期入所介護事業所(ショートステイ)

〈事業概況〉

・定員数　　多床室 10 名
・年間稼働率　　84.79%
・年間延利用者数　　3095 名
・年間平均介護度　　2.47
・1日平均利用者数　　8.47 人





《活動状況》

◇　サービスの向上

特養併設の為、今年度はコロナ禍での営業をすることに対して感染拡大が懸念されたが、ショートステイ利用者を単独グループにすることで営業停止せずに利用して頂けた。また、年度後半より徘徊がある利用者に対して、担当の職員を配置することによって、1 対 1 の対応ができるようになりました。

◇　行事

今年度の行事はコロナウイルス感染対策の為、制限される内容が多かったが、その環境の中で、施設内で出来ることを提供し、満足して頂けたと思う。今後は、特養と連携を図り、外部の移動販売なども活用していきたい。

単独グループにすることで、職員と利用者の関わりが増え、創作活動やレクリエーションの充実が図れました。

◇　健康管理

日々の状態把握の為、在宅時の検温や外出歴など連絡帳を活用し、利用者や御家族との情報の共有を図りました。

安心して利用して頂けるようショートステイ利用中のマスクの着用とホールには、パーテーションを設置し感染予防に努めました。

◇　居宅と連携

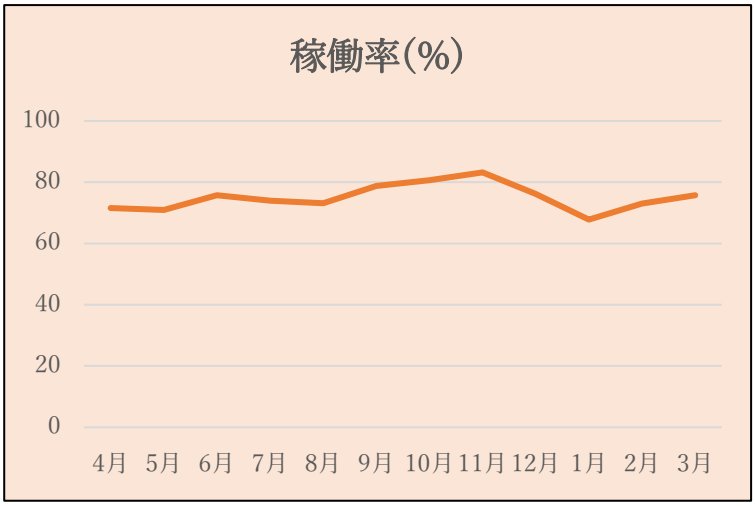
普段から積極的にコミュニケーションを図り、ショートステイ利用中の体調変化などにおいても、こまめに状態報告を行うよう心掛けている。情報の共有や問い合わせに対して迅速に対応することで、信頼関係の構築に繋げていきたい。

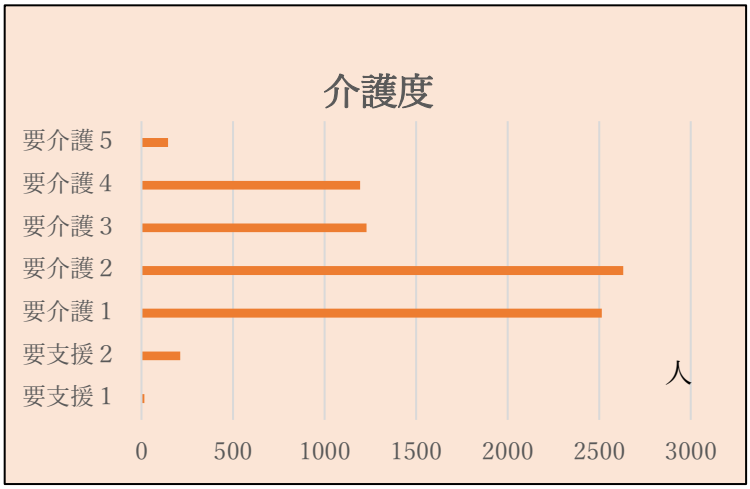
年度後半よりショートステイ利用者の施設入所などが続き、稼働率の低下がみられた。主にやまさわの特養を申し込みされている方を対象に、ケアマネジャーと情報交換や共有することで、3 名の新規利用に繋がりました。うち 1 名は、ロングショート利用されている。今後は、稼働率の向上が図れるように、居宅介護支援事業所に空床状況を提供すると共に、緊急の利用についても、柔軟に対応して要望に応えていけるようにしていきたい。

6. 通所介護事業所(デイサービス)

〈事業概況〉

・定員数　35 名
・年間稼働率　75.0%
・年間延利用者数　7943 名
・年間平均介護度　1.5
・1日平均利用者数　26.3 人





〈活動状況〉

◇ サービスの向上

・ 今年度はコロナ禍の影響で、全国のコロナ感染者の数値と同じように、デイサービスでの稼働低下がみられた。軽度の体調不良者でも様子観察の為、欠席したり、コロナウイルスが心配という理由からデイサービス利用を自粛する利用者もいました。
新規利用者の相談はあったが、今年度はコロナウイルスの影響から、受け入れが困難な場合があった。以前より感染対策は強化されているが、環境面での改善や認知症の利用者であるという事から、ソーシャルディスタンスを保つのが困難な時がある。マスクの着用は100%。

・ 不安のないように利用者が過ごせるように、職員と利用者の信頼関係づくりを意識しました。
日々の申し送りとして利用者、利用者家族も含め情報の共有に努めており、良い関係性を築くことができるよう努めている。

◇ 行事

・ 今年度のデイサービス行事は感染対策から制限されている内容が多かったが、その環境の中でもできる事を最大限に活用し、利用者の満足度は変わらなかった。

外部の移動販売を活用してのデザート提供等、新しい取り組みもできました。

製作作業を積極的に行い、作った折り紙の花などは芸術品の内容の物が多い。利用者も生きがいを感じて製作されていました。

◇ 感染対策

・職員、利用者の健康管理チェック表を活用した体調観察。また、行動歴も含めている為に感染の予測もしながら利用者一人ひとりに意識した対応ができました。

・室内は24時間、大型オゾン空気清浄機と大型扇風機を連動。定期的な換気も含め環境での対応もできました。

・アクリル板の設置と除菌水スプレーは各自持参し、消毒の徹底は全ての物に対しても良くできました。

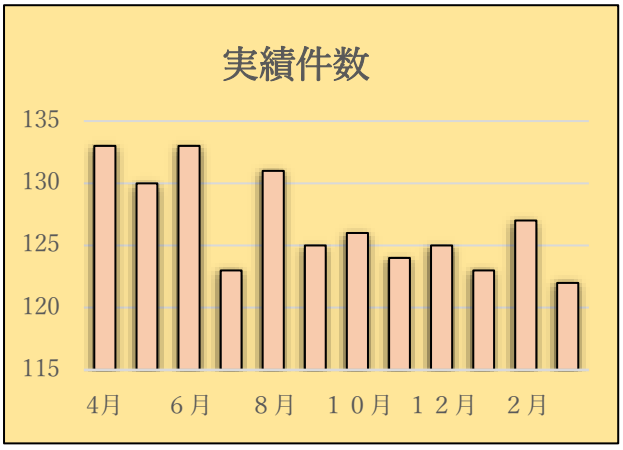
◇ 各課連携

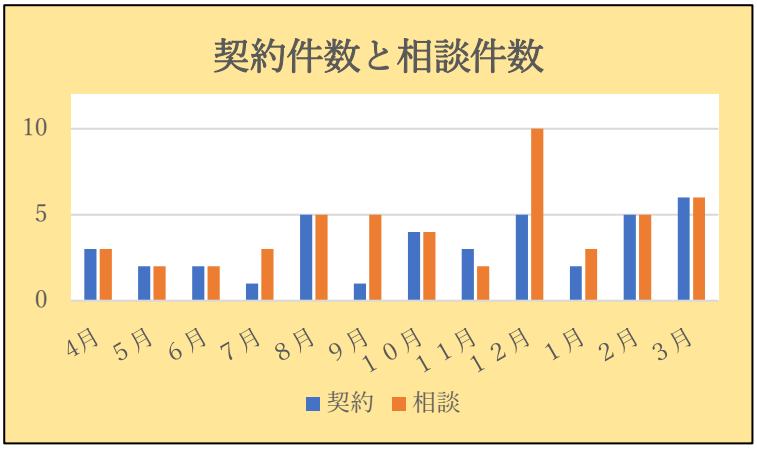
・ケアマネジャーと積極的にコミュニケーションを図り、情報の交換、共有を図ると共に可能な限り要望に答えることで、信頼関係を築くように努められた。特に今年度はコロナ禍での相談もあり、できる限りの対応ができました。

7. 居介護支援(ケアマネージャー)

＜事業概況＞

今年度目標件数　月 132 件　　年間 1，584 件
　　実績件数　月 126.8 件　年間 1，522 件
契約件数　39 件　相談件数　95 件　契約終了 38 件





＜活動状況＞

◇ コロナウイルス感染予防対策

利用者宅訪問やサービス担当者会議などの開催の仕方を臨機応変に行うことができました。また感染予防対策では、市内の他事業所や病院などの感染状況や、予防策などの情報を、法人内他部署に報告、相談し、感染予防における横の連携ができました。

◇ 研修について

コロナ禍の中、例年行われる研修会などが中止もしくはオンライン受講などに変わる中、3名のスタッフが介護支援専門員資格の更新研修を受講できました。
また、管理者は次年度の目標である特定事業所加算取得に向け、主任介護支援専門員研修を受講し、資格を取得することができました。

◇ 実績と介護相談について

件数については、目標件数には及ばなかったが、コロナウイルス対応の中、支援困難ケースに発展することなく、比較的安定して支援継続できました。
介護相談が合計 95 件(月平均 8 件)あったが、支援依頼の時期が重なってしまったケースなどは数件お断りしたこともあり、受け入れができない場面が多く見られました。
各担当の支援状況を確認しつつ、柔軟に依頼を引き受けられるよう体制を整える必要があると思いました。

財務諸表に対する注記（法人全体）

１．　継続事業の前提に関する注記

・・・

社会福祉事業

・本部

・介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム　やまさわの里）

・短期入所生活介護（ショートステイ　やまさわの里）

・通所介護（デイサービス　やまさわの里）

・居宅介護支援事業所（居宅介護支援事業所　やまさわの里）－公益事業

６．　基本財産の増減の内容及び金額

該当なし

７．　基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金特別積立金の取崩し

該当なし

８．　担保に供している資産

担保に供している資産は以下の通りである

土地（基本財産）　215,100,000 円

建物（基本財産）　227,460,771 円

合計　442,560,771 円

担保にしている債務の種類および金額は以下のとおりである

設備資金借入金（1 年以内返済予定設備資金借入金を含む）

9,250,000 円

９．　固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却の累計額及び当期残高は以下のとおりである

（単位：円）

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物（基本財産）	409,544,060	182,083,289	227,460,771
建物	255,735,550	229,568,209	26,167,351
構築物	36,888,039	36,048,551	839,488
車両運搬具	19,653,310	18,514,698	1,138,612
器具及び備品	45,583,348	29,747,232	13,894,198
合計	767,404,307	495,961,979	269,594,700

１０．　債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債券の当期末残高

・・・

財　産　目　録

令和03年03月31日　　現在

（単位　：　円）

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
Ⅰ資産の部						
１流動資産						
現金預金						
現金	現金手元有高		運転資金として			82,241
普通預金法人本部	栃木銀行真岡支店		運転資金として			21,661,368
普通預金特別養護老人ﾎｰﾑ	栃木銀行真岡支店他		運転資金として			83,751,372
普通預金ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰ	栃木銀行真岡支店		運転資金として			454,804
	小計					105,949,785
未収金						
事業未収金	介護福祉施設介護料未収金		2.3月分介護報酬			29,029,272
事業未収金	居宅介護料未収金		2.3月分介護報酬			15,636,668
事業未収金	居宅介護支援介護料未収金		2.3月分介護報酬			3,247,445
事業未収金	介護予防介護料未収金		2.3月分介護報酬			207,414
事業未収金	利用者負担金未収金		2.3月分介護報酬			9,935,824
未収補助金	簡易陰圧装置助成金		オゾンエアクリアeZ-100他			600,000
	小計					58,656,623
有価証券						
有価証券	日興証券・大和証券		特段の指定はない			191,995,349
	小計					191,995,349
棚卸資産						0
	小計					0
他流動資産						0
	小計					0
流動資産合計						356,601,757
２固定資産						
（１）基本財産						
【基本】土地	栃木県真岡市熊倉町3435-1		第1種社会福祉事業に使用			215,100,000
【基本】建物	栃木県真岡市熊倉町3435-1	2002年度	第1種社会福祉事業に使用	409,544,060	182,083,289	227,460,771
基本財産合計						442,560,771
（２）その他の固定資産						
建物	栃木県真岡市熊倉町3435-1		第1種社会福祉事業に使用	4,500,000	2,238,637	2,261,363
建物	栃木県真岡市熊倉町3435-1		第1種社会福祉事業に使用	251,235,560	227,329,572	23,905,988
構築物	栃木県真岡市熊倉町3435-1		第1種社会福祉事業に使用	36,888,039	36,048,551	839,488
車両運搬具	ハイエース他9台		利用者送迎用	19,653,310	18,514,698	1,138,612
器具及び備品	介護用ベッド他		第1種社会福祉事業に使用	45,538,348	29,747,232	13,894,198
退職給付引当資産			職員の退職金積立			25,592,136
その他の固定資産			社用車ﾘｻｲｸﾙ預託金			94,280
その他固定資産合計						67,726,065
固定資産合計						510,286,836
資産合計						866,888,593
Ⅱ負債の部						
１流動負債						
事業未払金						12,380,484
1年以内返済設備借入金						9,250,000
1年以内支払長期未払金			ﾊﾟﾗﾏｳﾝﾄﾍﾞｯﾄﾞ10台割賦			656,040
預り金	振替手数料					31,650
預り金	社労士源泉所得税					5,105
職員預り金	源泉所得税					451,196
職員預り金	住民税					515,800
職員預り金	社会保険料					3,983,912
職員預り金	雇用保険料					95,757
未払金	職員給料未払金					14,926,582
未払金	親睦会費					31,000
流動負債合計						42,327,526
２固定負債						
退職給付引当金	栃木県民間社会福祉施設職員退職共済財団		職員の退職金の引当金			25,597,704
長期未払金	ｲｵｽ商事		ﾊﾟﾗﾏｳﾝﾄﾍﾞｯﾄﾞ10台割賦			1,749,440
固定負債合計						27,347,144
負債合計						69,674,670
差　引　純　資　産						797,213,923

別紙１

現況報告書（令和3年4月1日現在）

１．法人基本情報

(1)都道府県区分	(2)市町村区分	(3)所轄庁区分	(4)法人番号	(5)法人区分	(6)活動状況
09 栃木県	209 真岡市	09209	4060005003237	05 その他	01 運営中

(7)法人の名称	社会福祉法人　山坂福祉会				
(8)主たる事務所の住所	栃木県	真岡市	熊倉町3435-1		
(9)主たる事務所の電話番号	0285-81-1188	(10)主たる事務所のＦＡＸ番号	0285-81-1187	(11)従たる事務所の有無	2 無
(12)従たる事務所の住所					
(13)法人のﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞｱﾄﾞﾚｽ	http://www.yamasawanosato.or.jp/	(14)法人のﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ	info@yamasawanosato.or.jp		
(15)法人の設立認可年月日	平成14年5月1日	(16)法人の設立登記年月日	平成13年6月25日		

２．当該会計年度の初日における評議員の状況

(1)評議員の定員	7-8	(2)評議員の現員	8	(3-6)評議員全員の報酬等の総額(前会計年度実績)（円）	0

(3-1)評議員の氏名 (3-2)評議員の職業	(3-3)評議員の任期	(3-4)評議員の所轄庁からの再就職状況	(3-5) 他の社会福祉法人の評議員・役員・職員との兼務状況	(3-7)前会計年度における評議員会への出席回数
螺良　仁一 歯科技工士	H29.4.1 ～ R3年定時評議員会終了まで	2 無	2 無	1
青山　一三 (株)コマツ役員	H29.4.1 ～ R3年定時評議員会終了まで	2 無	2 無	1
木村　孝憲 無職	H29.4.1 ～ R3年定時評議員会終了まで	2 無	2 無	1
北條　武 無職	H29.4.1 ～ R3年定時評議員会終了まで	2 無	2 無	1
若林　和子 無職	H29.4.1 ～ R3年定時評議員会終了まで	2 無	2 無	1
青木　トワ 無職	H29.4.1 ～ R3年定時評議員会終了まで	2 無	2 無	1
木村　義弘 お仏壇のきむら代表取締	H29.4.1 ～ R3年定時評議員会終了まで	2 無	2 無	1
仁平　昭 無職	H29.4.1 ～ R3年定時評議員会終了まで	2 無	2 無	1

３．当該会計年度の初日における理事の状況

(1)理事の定員	6	(2)理事の現員	6	(3-12)理事全員の報酬等の総額(前会計年度実績)（円）	21,151,602	2 特例無

(3-1)理事の氏名	(3-2)理事の役職(注) (3-8)理事の任期	(3-3)理事長への就任年月日	(3-4)理事の常勤・非常勤 (3-9)理事要件の区分別該当状況	(3-5)理事選任の評議員会議決年月日	(3-6)理事の職業	(3-10)各理事と親族等特殊関係にある者の有無	(3-11)理事報酬等の支給形態	(3-7)理事の所轄庁からの再就職状況 (3-13)前会計年度における理事会への出席回数
野原　哲夫	1 理事長 R1.6.14 ～ R3年定時評議員会終了	平成15年6月28日	2 非常勤 1 社会福祉事業の経営に関する識見を有する者	令和1年6月14日	野原税理士事務所　代表	1 有	2 理事報酬のみ支給	2 無 3
押久保　圭子	2 業務執行理事 R1.6.14 ～ R3年定時評議員会終了		1 常勤 4 その他	令和1年6月14日	特別養護老人ホーム　やまさわの里　施設長	1 有	3 職員給与のみ支給	2 無 3
田中　友義	3 その他理事 R1.6.14 ～ R3年定時評議員会終了		2 非常勤 4 その他	令和1年6月14日	臨時学校職員	2 無	2 理事報酬のみ支給	2 無 3
久保　文康	3 その他理事 R1.6.14 ～ R3年定時評議員会終了		2 非常勤 2 事業区域における福祉に関する実情に通じている者	令和1年6月14日	無職	2 無	2 理事報酬のみ支給	2 無 3
田中　光晴	2 業務執行理事 R1.6.14 ～ R3年定時評議員会終了		1 常勤 4 その他	令和1年6月14日	特別養護老人ホーム　やまさわの里　事務長	2 無	3 職員給与のみ支給	2 無 3
尾﨑　隆	2 業務執行理事 R1.6.14 ～ R3年定時評議員会終了		1 常勤 3 施設の管理者	令和1年6月14日	特別養護老人ホーム　やまさわの里　総務主任	2 無	3 職員給与のみ支給	2 無 3

(注)「(3-2)理事の役職」のうち、「理事長」とは、社会福祉法45条の13第3項で規定する理事長(会長等の他の役職名を使用している法人がある。)である。
「業務執行理事」とは、社会福祉法45条の16第2項第2号で規定する業務執行理事(常務理事等の他の役職名を使用している法人がある。)である。

４．当該会計年度の初日における監事の状況

(1)監事の定員	2	(2)監事の現員	2	(3-6)監事全員の報酬等の総額(前会計年度実績)（円）	30,000

(3-1)監事の氏名	(3-2)①監事の職業 (3-4)監事の任期	(3-2)②監事の所轄庁からの再就職状況 (3-5)監事要件の区分別該当状況	(3-3)監事選任の評議員会議決年月日 (3-7)前会計年度における理事会への出席回数
原村　薫	税理士 R1.6.14 ～ R3年定時評議員会終了	2 無 2 社会福祉事業に識見を有する者（税理士）	令和1年6月14日 2
黒田　敏晴	税理士 R1.6.14 ～ R3年定時評議員会終了	2 無 5 財務管理に識見を有する者（税理士）	令和1年6月14日 1

５．前会計年度・当会計年度における会計監査人の状況

(1-1)前会計年度の会計監査人の氏名（監査法人の場合は監査法人名）	(1-2)前会計年度の会計監査人の監査報酬額（円）	(1-3)前年度決算にかかる定時評議員会への出席の有無	(2-1)当会計年度の会計監査人の氏名（監査法人の場合は監査法人名）	(2-2)当会計年度の会計監査人の監査報酬額（円）
		2 無		0
		2 無		0

６．当該会計年度の初日における職員の状況

(1)法人本部職員の人数					
①常勤専従者の実数	2	②常勤兼務者の実数	0	③非常勤者の実数	0
		常勤換算数	0.0	常勤換算数	0.0
(2)施設・事業所職員の人数					
①常勤専従者の実数	40	②常勤兼務者の実数	0	③非常勤者の実数	24
		常勤換算数	0.0	常勤換算数	20.6

７．前会計年度に実施した評議員会の状況

(1)評議員会ごとの評議	(2)評議員会ごとの評議員・理事・監事・会計監査人別の出席者数	(3)評議員会ごとの決議事項

現況報告書（令和3年4月1日現在）

員会開催年月日	会計監査人別の出席者数				(3)評議員会ごとの決議事項
	評議員	理事	監事	会計監査人	
令和2年6月14日	8	6	2		(1) 令和元年度　決算報告 (2)定款改定 ※書面決議

(4)うち開催を省略した回数	0

８．前会計年度に実施した理事会の状況

(1)理事会ごとの理事会開催年月日	(2)理事会ごとの理事・監事別の出席者数		(3)理事会ごとの決議事項
	理事	監事	
令和2年5月27日	6	2	(1) 令和元年度　事業報告 (2) 令和元年度　決算報告・監査報告 (3) 評議員会開催日時及び議題 ※書面決議
令和2年12月25日	6	1	報告事項のみ
令和3年3月24日	6	1	(1)令和３年度事業計画 (2)令和３年度予算

(4)うち開催を省略した回数	0

９．前会計年度に実施した監事監査の状況

(1)監事監査を実施した監事の氏名	原村　薫 黒田　敏晴
(2)監査報告により求められた改善すべき事項	特になし
(3)監査報告により求められた改善すべき事項に対する対応	なし

１０．前会計年度に実施した会計監査(会計監査人による監査に準ずる監査を含む)の状況

(1)会計監査人による会計監査報告における意見の区分

１１．前会計年度における事業等の概要　－　(1)社会福祉事業の実施状況

①-1拠点区分コード分類	①-2拠点区分名称	①-3事業類型コード分類	①-4実施事業名称			②事業所の名称				
		③事業所の所在地				④事業所の土地の保有状況	⑤事業所の建物の保有状況	⑥事業所単位での事業開始年月日	⑦事業所単位での定員	⑧年間(4月～3月）利用者延べ総数（人／年）
		⑨社会福祉施設等の建設等の状況（当該拠点区分における主たる事業（前年度の年間収益が最も多い事業）に計上）								
		ア　建設費	（ア）建設年月日	（イ）自己資金額（円）	（ウ）補助金額（円）	（エ）借入金額（円）		（オ）建設費合計額（円）	ウ　延べ床面積	
		イ　大規模修繕	（ア）－１修繕年月日（１回目）	（ア）－２修繕年月日（２回目）	（ア）－３修繕年月日（３回目）	（ア）－４修繕年月日（４回目）		（ア）－5修繕年月日（５回目）	（イ）修繕費合計額（円）	
000	特別養護老人ホーム　やまさわの里	01030202	特別養護老人ホーム（介護福祉サービス）			特別養護老人ホーム　やまさわの里				
		栃木県	真岡市	熊倉町３４３５－１		３ 自己所有	３ 自己所有	平成14年5月1日	50	604
		ア建設費	平成14年4月1日	37,011,629	456,228,361	205,000,000		698,239,990		2,614.520
		イ大規模修繕	平成25年4月1日							22,209,157
000	特別養護老人ホーム　やまさわの里	02120201	老人デイサービス事業（通所介護）			やまさわの里デイサービスセンター				
		栃木県	真岡市	熊倉町３４３５－１		３ 自己所有	３ 自己所有	平成14年5月1日	35	8,838
		ア建設費	平成14年4月1日					0		
		イ大規模修繕	平成25年4月1日							
000	特別養護老人ホーム　やまさわの里	02120401	老人短期入所事業（短期入所生活介護）			やまさわの里ショートステイ				
		栃木県	真岡市	熊倉町３４３５－１		３ 自己所有	３ 自己所有	平成14年5月1日	10	3,173
		ア建設費	平成14年4月1日					0		
		イ大規模修繕	平成25年4月1日							
000	特別養護老人ホーム　やまさわの里	06260301	（公益）居宅介護支援事業			やまさわの里居宅介護支援事業所				
		栃木県	真岡市	熊倉町３４３５－１		３ 自己所有	３ 自己所有	平成14年5月1日	0	1,229
		ア建設費	平成14年4月1日					0		
		イ大規模修繕	平成25年4月1日							

１１．前会計年度における事業等の概要　－　(2)公益事業

①-1拠点区分コード分類	①-2拠点区分名称	①-3事業類型コード分類	①-4実施事業名称			②事業所の名称				
		③事業所の所在地				④事業所の土地の保有状況	⑤事業所の建物の保有状況	⑥事業所単位での事業開始年月日	⑦事業所単位での定員	⑧年間(4月～3月）利用者延べ総数（人／年）
		⑨社会福祉施設等の建設等の状況（当該拠点区分における主たる事業（前年度の年間収益が最も多い事業）に計上）								
		ア　建設費	（ア）建設年月日	（イ）自己資金額（円）	（ウ）補助金額（円）	（エ）借入金額（円）		（オ）建設費合計額（円）	ウ　延べ床面積	
		イ　大規模修繕	（ア）－１修繕年月日（１回目）	（ア）－２修繕年月日（２回目）	（ア）－３修繕年月日（３回目）	（ア）－４修繕年月日（４回目）		（ア）－5修繕年月日（５回目）	（イ）修繕費合計額（円）	

１１．前会計年度における事業等の概要　－　(3)収益事業

①-1拠点		①-3事業類型コード分類	①-4実施事業名称			②事業所の名称				
		③事業所の所在地				④事業所の土地の保有	⑤事業所の建物の保有	⑥事業所単位での事業開始年月日	⑦事業所単位での定員	⑧年間(4月～3月）利用者延べ総

現況報告書（令和3年4月1日現在）

①-1拠点区分コード分類	①-2拠点区分名称										
						状況	状況	始年月日		位置の定員	数（人／年）
		⑨社会福祉施設等の建設等の状況（当該拠点区分における主たる事業（前年度の年間収益が最も多い事業）に計上）									
		ア 建設費	（ア）建設年月日	（イ）自己資金額（円）	（ウ）補助金額（円）	（エ）借入金額（円）	（オ）建設費合計額（円）		ウ 延べ床面積		
		イ 大規模修繕	（ア）－１修繕年月日（１回目）	（ア）－２修繕年月日（２回目）	（ア）－３修繕年月日（３回目）	（ア）－４修繕年月日（４回目）	（ア）－5修繕年月日（５回目）		（イ）修繕費合計額（円）		

１１．前会計年度における事業等の概要　－　(4)備考

11-2．地域における公益的な取組（地域公益事業(再掲)含む）

①取組類型コード分類	②取組の名称	③取組の実施場所(区域)
	④取組内容	
地域における公益的な取組①（地域の要支援者に対する相談支援）	いちごハートねっと事業	法人住所と同じ(栃木県真岡市熊倉町3435-1)
	おこまり福祉相談　地域住民のこまりごとの相談に応じます	
地域における公益的な取組⑧（地域の関係者とのネットワークづくり）	地域連携防災協定	法人住所と同じ(栃木県真岡市熊倉町3435-1)
	地域の関係者とのネットワーク構築を図りながら、災害時に備えた地域のコミュニティづくりの取組を実施	
地域における公益的な取組⑧（地域の関係者とのネットワークづくり）	294たがやしNET	法人住所と同じ(栃木県真岡市熊倉町3435-1)
	地域の社会福祉法人および社協のネットワークによる防災や買い物支援など	

１２．社会福祉充実残額及び社会福祉充実計画の策定の状況　（社会福祉充実残額算定シートを作成するまで編集することはできません）

（1）社会福祉充実残額等の総額（円）	0
（2）社会福祉充実計画における計画額（計画期間中の総額）	
①社会福祉事業又は公益事業（社会福祉事業に類する小規模事業）（円）	0
②地域公益事業（円）	0
③公益事業（円）	0
④合計額（①＋②＋③）（円）	0
（3）社会福祉充実残額の前年度の投資実績額	
①社会福祉事業又は公益事業（社会福祉事業に類する小規模事業）（円）	0
②地域公益事業（円）	0
③公益事業（円）	0
④合計額（①＋②＋③）（円）	0
（4）社会福祉充実計画の実施期間	～

１３．透明性の確保に向けた取組状況

(1)積極的な情報公表への取組

①任意事項の公表の有無

㋐事業報告	2 無
㋑財産目録	2 無
㋒事業計画書	2 無
㋓第三者評価結果	3 該当なし
㋔苦情処理結果	2 無
㋕監事監査結果	2 無
㋖附属明細書	2 無

(2)前会計年度の報酬・補助金等の公費の状況

①事業運営に係る公費（円）	308,175,431
②施設・設備に係る公費（円）	2,227,000
③国庫補助金等特別積立金取崩累計額（円）	310,415,026

(3)福祉サービスの第三者評価の受審施設・事業所について

施設名	直近の受審年度

１４．ガバナンスの強化・財務規律の確立に向けた取組状況

(1)会計監査人非設置法人における会計に関する専門家の活用状況

①実施者の区分	
②実施者の氏名（法人の場合は法人名）	
③業務内容	
④費用［年額］（円）	

(2)法人所轄庁からの報告徴収・検査への対応状況

①所轄庁から求められた改善事項	
②実施した改善内容	

１５．その他

退職手当制度の加入状況等（複数回答可）

① 社会福祉施設職員等退職手当共済制度（(独)福祉医療機構）に加入	2 無	
② 中小企業退職金共済制度（(独)勤労者退職金共済機構）に加入	2 無	
③ 特定退職金共済制度（商工会議所）に加入	2 無	
④ 都道府県社会福祉協議会や都道府県民間社会福祉事業職員共済会等が行う民間の社会福祉事業・施設の職員を対象とした退職手当制度に加入		1 有
⑤ その他の退職手当制度に加入（具体的に：●●●　）		
⑥ 法人独自で退職手当制度を整備	2 無	
⑦ 退職手当制度には加入せず、退職給付引当金の積立も行っていない	2 無	

第一号第一様式（第十七条第四項関係）

法人単位資金収支計算書

（自）令和2年4月1日　（至）令和3年3月31日

（単位：円）

勘定科目			予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入	介護保険事業収入		372,557,413	-372,557,413	
		（何）事業収入		4,861,266	-4,861,266	
		受取利息配当金収入		3,489,366	-3,489,366	
		その他の収入		2,385,333	-2,385,333	
		流動資産評価益等による資金増加額		0	0	
		事業活動収入計（1）	0	383,293,378	-383,293,378	
	支出	人件費支出		263,138,498	-263,138,498	
		事業費支出		45,887,406	-45,887,406	
		事務費支出		44,821,695	-44,821,695	
		支払利息支出		296,000	-296,000	
		事業活動支出計（2）	0	354,143,599	-354,143,599	
	事業活動資金収支差額（3）＝（1）－（2）		0	29,149,779	-29,149,779	
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入		2,227,000	-2,227,000	
		施設整備等収入計（4）	0	2,227,000	-2,227,000	
	支出	設備資金借入金元金償還支出		9,250,000	-9,250,000	
		長期未払金支出		656,040	-656,040	
		固定資産取得支出		5,799,830	-5,799,830	
		固定資産除却・廃棄支出		0	0	
		施設整備等支出計（5）	0	15,705,870	-15,705,870	
	施設整備等資金収支差額（6）＝（4）－（5）		0	-13,478,870	13,478,870	
他の活動による	収入	積立資産取崩収入		2,878,368	-2,878,368	
		その他の活動収入計（7）	0	2,878,368	-2,878,368	
	支出	積立資産支出		2,991,640	-2,991,640	
		その他の活動による支出		0	0	
		その他の活動支出計（8）	0	2,991,640	-2,991,640	
	その他の活動資金収支差額（9）＝（7）－（8）		0	-113,272	113,272	
予備費支出（１０）					0	
当期資金収支差額合計（１１）＝（3）＋（6）＋（9）－（１０）			0	15,557,637	-15,557,637	
前期末支払資金残高（１２）				308,622,634	-308,622,634	
当期末支払資金残高（１１）＋（１２）			0	324,180,271	-324,180,271	

第一号第四様式（第十七条第四項関係）

特別養護老人ホーム　やまさわの里　資金収支計算書

（自）令和2年4月1日　（至）令和3年3月31日

（単位：円）

勘定科目			予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入	介護保険事業収入	355,995,715	372,557,413	-16,561,698	
		施設介護料収入	192,000,000	207,345,992	-15,345,992	
		介護報酬収入	173,000,000	188,399,416	-15,399,416	
		利用者負担金収入（一般）	19,000,000	18,946,576	53,424	
		居宅介護料収入	111,975,715	109,231,396	2,744,319	
		介護報酬収入	98,875,715	95,031,683	3,844,032	
		介護予防報酬収入	1,000,000	1,129,167	-129,167	
		介護負担金収入（一般）	12,000,000	12,970,858	-970,858	
		介護予防負担金収入（一般）	100,000	99,688	312	
		居宅介護支援介護料収入	19,800,000	18,627,677	1,172,323	
		居宅介護支援介護料収入	19,800,000	18,627,677	1,172,323	
		介護予防支援介護料収入			0	
		利用者等利用料収入	32,120,000	33,249,348	-1,129,348	
		食費収入（公費）	120,000	126,222	-6,222	
		食費収入（一般）	20,000,000	20,809,844	-809,844	
		居住費収入（公費）			0	
		居住費収入（一般）	12,000,000	12,313,282	-313,282	
		その他の事業収入	100,000	4,103,000	-4,003,000	
		補助金事業収入（一般）	100,000	4,103,000	-4,003,000	
		（何）事業収入	575,000	4,861,266	-4,286,266	
		その他の事業収入	575,000	4,861,266	-4,286,266	
		補助金事業収入（公費）	575,000	4,861,266	-4,286,266	
		受取利息配当金収入	3,489,000	3,489,366	-366	
		その他の収入	3,050,000	2,385,333	664,667	
		受入研修費収入	150,000	10,000	140,000	
		利用者等外給食費収入	2,800,000	2,341,812	458,188	
		雑収入	100,000	33,521	66,479	
		流動資産評価益等による資金増加額	0	0	0	
		有価証券売却益			0	
		事業活動収入計（１）	363,109,715	383,293,378	-20,183,663	
	支出	人件費支出	260,912,967	263,138,498	-2,225,531	
		役員報酬支出	3,000,000	2,960,000	40,000	
		職員給料支出	150,075,175	150,430,174	-354,999	
		職員賞与支出	33,500,000	33,328,860	171,140	
		非常勤職員給与支出	41,263,590	40,331,356	932,234	
		派遣職員費支出			0	
		退職給付支出		2,878,368	-2,878,368	
		法定福利費支出	33,074,202	33,209,740	-135,538	
		事業費支出	41,541,584	45,887,406	-4,345,822	
		給食費支出	18,621,584	19,013,461	-391,877	
		介護用品費支出	3,500,000	3,618,220	-118,220	
		医薬品費支出			0	
		保健衛生費支出	370,000	534,279	-164,279	
		医療費支出			0	
		被服費支出	2,100,000	1,728,008	371,992	
		教養娯楽費支出	450,000	497,991	-47,991	
		日用品費支出			0	
		水道光熱費支出	10,300,000	9,483,557	816,443	
		燃料費支出			0	
		消耗器具備品費支出	3,700,000	8,008,101	-4,308,101	
		車輌費支出	2,450,000	2,997,669	-547,669	
		雑支出	50,000	6,120	43,880	
		事務費支出	45,102,330	44,821,695	280,635	
		福利厚生費支出	1,250,000	1,248,863	1,137	
		職員被服費支出	250,000	199,975	50,025	
		旅費交通費支出	400,000	200	399,800	
		研修研究費支出	520,000	356,799	163,201	
		事務消耗品費支出	600,000	418,772	181,228	
		印刷製本費支出	600,000	559,268	40,732	
		修繕費支出	1,100,000	2,823,041	-1,723,041	
		通信運搬費支出	800,000	931,161	-131,161	
		会議費支出	176,000		176,000	
		広報費支出		33,000	-33,000	
		業務委託費支出	30,783,800	30,237,334	546,466	
		手数料支出	200,000	751,967	-551,967	
		保険料支出	1,500,000	1,697,770	-197,770	

第一号第四様式（第十七条第四項関係）

特別養護老人ホーム　やまさわの里　資金収支計算書

（自）令和2年4月1日　（至）令和3年3月31日

（単位：円）

勘定科目			予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
		賃借料支出	2,650,000	2,619,317	30,683	
		土地・建物賃借料支出	625,000	625,000	0	
		租税公課支出	150,000	160,980	-10,980	
		保守料支出	2,950,000	1,433,651	1,516,349	
		渉外費支出	10,000	5,000	5,000	
		諸会費支出	487,530	510,002	-22,472	
		新聞図書費支出			0	
		雑支出	50,000	209,595	-159,595	
		支払利息支出	296,000	296,000	0	
		事業活動支出計（２）	347,852,881	354,143,599	-6,290,718	
	事業活動資金収支差額（３）＝（１）－（２）		15,256,834	29,149,779	-13,892,945	
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	0	2,227,000	-2,227,000	
		施設整備等補助金収入		2,227,000	-2,227,000	
		施設整備等収入計（４）	0	2,227,000	-2,227,000	
	支出	設備資金借入金元金償還支出	9,250,000	9,250,000	0	
		長期未払金支出	656,040	656,040	0	
		固定資産取得支出	0	5,799,830	-5,799,830	
		車輌運搬具取得支出			0	
		器具及び備品取得支出		5,799,830	-5,799,830	
		固定資産除却・廃棄支出			0	
		施設整備等支出計（５）	9,906,040	15,705,870	-5,799,830	
	施設整備等資金収支差額（６）＝（４）－（５）		-9,906,040	-13,478,870	3,572,830	
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	0	2,878,368	-2,878,368	
		退職給付引当資産取崩収入		2,878,368	-2,878,368	
		その他の活動収入計（７）	0	2,878,368	-2,878,368	
	支出	積立資産支出	2,860,000	2,991,640	-131,640	
		退職給付引当資産支出	2,860,000	2,991,640	-131,640	
		その他の活動による支出			0	
		その他の活動支出計（８）	2,860,000	2,991,640	-131,640	
	その他の活動資金収支差額（９）＝（７）－（８）		-2,860,000	-113,272	-2,746,728	
予備費支出（１０）			1,000,000		1,000,000	
当期資金収支差額合計（１１）＝（３）＋（６）＋（９）－（１０）			1,490,794	15,557,637	-14,066,843	
前期末支払資金残高（１２）			308,622,634	308,622,634	0	
当期末支払資金残高（１１）＋（１２）			310,113,428	324,180,271	-14,066,843	

第二号第一様式（第二十三条第四項関係）

法人単位事業活動計算書

（自）令和2年4月1日　（至）令和3年3月31日

（単位：円）

勘定科目			当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益	介護保険事業収益	372,557,413	350,086,343	22,471,070
		（何）事業収益	4,894,787	2,302,300	2,592,487
		サービス活動収益計（１）	377,452,200	352,388,643	25,063,557
	費用	人件費	263,257,338	262,347,652	909,686
		事業費	45,887,406	42,883,463	3,003,943
		事務費	44,821,695	45,469,014	-647,319
		減価償却費	19,156,884	20,354,121	-1,197,237
		国庫補助金等特別積立金取崩額	-9,178,239	-7,520,466	-1,657,773
		サービス活動費用計（２）	363,945,084	363,533,784	411,300
	サービス活動増減差額（３）＝（１）－（２）		13,507,116	-11,145,141	24,652,257
ービス活動外増減の	収益	受取利息配当金収益	3,489,366	3,599,286	-109,920
		有価証券売却益	0	0	0
		その他のサービス活動外収益	2,351,812	2,942,712	-590,900
		サービス活動外収益計（４）	5,841,178	6,541,998	-700,820
	費用	支払利息	296,000	444,000	-148,000
		サービス活動外費用計（５）	296,000	444,000	-148,000
	サービス活動外増減差額（６）＝（４）－（５）		5,545,178	6,097,998	-552,820
経常増減差額（７）＝（３）＋（６）			19,052,294	-5,047,143	24,099,437
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	2,227,000		2,227,000
		特別収益計（８）	2,227,000	0	2,227,000
	費用	固定資産売却損・処分損	94,466	26	94,440
		国庫補助金等特別積立金取崩額（除却等）	2,227,000	-26	2,227,026
		その他の特別損失	0	2,000	-2,000
		特別費用計（９）	2,321,466	2,000	2,319,466
	特別増減差額（１０）＝（８）－（９）		-94,466	-2,000	-92,466
当期活動増減差額（１１）＝（７）＋（１０）			18,957,828	-5,049,143	24,006,971
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額（１２）		328,023,269	333,072,412	-5,049,143
	当期末繰越活動増減差額（１３）＝（１１）＋（１２）		346,981,097	328,023,269	18,957,828
	基本金取崩額（１４）		0	0	0
	その他の積立金取崩額（１５）		0	0	0
	その他の積立金積立額（１６）		0	0	0
	次期繰越活動増減差額（１７）＝（１３）＋（１４）＋（１５）－（１６）		346,981,097	328,023,269	18,957,828

第二号第四様式（第二十三条第四項関係）

特別養護老人ホーム　やまさわの里　事業活動計算書

（自）令和2年4月1日　（至）令和3年3月31日

（単位：円）

		勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益	介護保険事業収益	372,557,413	350,086,343	22,471,070
		施設介護料収益	207,345,992	184,826,643	22,519,349
		介護報酬収益	188,399,416	165,507,002	22,892,414
		利用者負担金収益（一般）	18,946,576	19,319,641	-373,065
		居宅介護料収益	109,231,396	113,379,711	-4,148,315
		介護報酬収益	95,031,683	99,272,747	-4,241,064
		介護予防報酬収益	1,129,167	938,118	191,049
		介護負担金収益（一般）	12,970,858	13,064,000	-93,142
		介護予防負担金収益（一般）	99,688	104,846	-5,158
		居宅介護支援介護料収益	18,627,677	19,039,929	-412,252
		居宅介護支援介護料収益	18,627,677	19,039,929	-412,252
		利用者等利用料収益	33,249,348	32,740,060	509,288
		食費収益（公費）	126,222	84,180	42,042
		食費収益（一般）	20,809,844	21,508,658	-698,814
		居住費収益（公費）			0
		居住費収益（一般）	12,313,282	11,147,222	1,166,060
		その他の事業収益	4,103,000	100,000	4,003,000
		補助金事業収益（一般）	4,103,000	100,000	4,003,000
		（何）事業収益	4,894,787	2,302,300	2,592,487
		その他の事業収益	4,894,787	2,302,300	2,592,487
		補助金事業収益（公費）	4,894,787	2,302,300	2,592,487
		サービス活動収益計（１）	377,452,200	352,388,643	25,063,557
	費用	人件費	263,257,338	262,347,652	909,686
		役員報酬	2,960,000	2,050,000	910,000
		職員給料	150,430,174	146,657,907	3,772,267
		職員賞与	33,328,860	30,264,190	3,064,670
		賞与引当金繰入			0
		非常勤職員給与	40,331,356	48,062,297	-7,730,941
		派遣職員費			0
		退職給付費用	2,997,208	3,048,364	-51,156
		法定福利費	33,209,740	32,264,894	944,846
		事業費	45,887,406	42,883,463	3,003,943
		給食費	19,013,461	18,589,398	424,063
		介護用品費	3,618,220	3,853,320	-235,100
		医薬品費			0
		保健衛生費	534,279	346,752	187,527
		医療費			0
		被服費	1,728,008	2,115,452	-387,444
		教養娯楽費	497,991	534,534	-36,543
		日用品費			0
		水道光熱費	9,483,557	10,200,461	-716,904
		燃料費		76,142	-76,142
		消耗器具備品費	8,008,101	4,637,731	3,370,370
		保険料			0
		賃借料			0
		車輌費	2,997,669	2,490,035	507,634
		雑費	6,120	39,638	-33,518
		事務費	44,821,695	45,469,014	-647,319
		福利厚生費	1,248,863	1,183,370	65,493
		職員被服費	199,975	238,066	-38,091
		旅費交通費	200	60,500	-60,300
		研修研究費	356,799	928,862	-572,063
		事務消耗品費	418,772	1,141,526	-722,754
		印刷製本費	559,268	505,887	53,381
		修繕費	2,823,041	3,394,448	-571,407
		通信運搬費	931,161	866,534	64,627
		会議費		144,646	-144,646
		広報費	33,000	55,000	-22,000
		業務委託費	30,237,334	29,317,202	920,132

第二号第四様式（第二十三条第四項関係）

特別養護老人ホーム　やまさわの里　事業活動計算書

（自）令和2年4月1日　（至）令和3年3月31日

（単位：円）

勘定科目			当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
		手数料	751,967	1,175,539	-423,572
		保険料	1,697,770	1,116,430	581,340
		賃借料	2,619,317	2,110,891	508,426
		土地・建物賃借料	625,000	625,000	0
		租税公課	160,980	46,000	114,980
		保守料	1,433,651	1,919,474	-485,823
		渉外費	5,000	25,000	-20,000
		諸会費	510,002	518,693	-8,691
		新聞図書費			0
		雑費	209,595	95,946	113,649
		減価償却費	19,156,884	20,354,121	-1,197,237
		国庫補助金等特別積立金取崩額	-9,178,239	-7,520,466	-1,657,773
		サービス活動費用計（２）	363,945,084	363,533,784	411,300
	サービス活動増減差額（３）＝（１）－（２）		13,507,116	-11,145,141	24,652,257
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	3,489,366	3,599,286	-109,920
		有価証券売却益			0
		その他のサービス活動外収益	2,351,812	2,942,712	-590,900
		受入研修費収益	10,000	305,500	-295,500
		利用者等外給食収益	2,341,812	2,632,212	-290,400
		雑収益		5,000	-5,000
		サービス活動外収益計（４）	5,841,178	6,541,998	-700,820
	費用	支払利息	296,000	444,000	-148,000
		サービス活動外費用計（５）	296,000	444,000	-148,000
	サービス活動外増減差額（６）＝（４）－（５）		5,545,178	6,097,998	-552,820
経常増減差額（７）＝（３）＋（６）			19,052,294	-5,047,143	24,099,437
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	2,227,000	0	2,227,000
		施設整備等補助金収益	2,227,000		2,227,000
		特別収益計（８）	2,227,000	0	2,227,000
	費用	固定資産売却損・処分損	94,466	26	94,440
		車輌運搬具売却損・処分損			0
		器具及び備品売却損・処分損	94,466	26	94,440
		国庫補助金等特別積立金取崩額（除却等）	2,227,000	-26	2,227,026
		その他の特別損失		2,000	-2,000
		特別費用計（９）	2,321,466	2,000	2,319,466
	特別増減差額（１０）＝（８）－（９）		-94,466	-2,000	-92,466
当期活動増減差額（１１）＝（７）＋（１０）			18,957,828	-5,049,143	24,006,971
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額（１２）		328,023,269	333,072,412	-5,049,143
	当期末繰越活動増減差額（１３）＝（１１）＋（１２）		346,981,097	328,023,269	18,957,828
	基本金取崩額（１４）				0
	その他の積立金取崩額（１５）				0
	その他の積立金積立額（１６）				0
	次期繰越活動増減差額（１７）＝（１３）＋（１４）＋（１５）－（１６）		346,981,097	328,023,269	18,957,828

第三号第一様式（第二十七条第四項関係）

法人単位貸借対照表

令和3年3月31日現在

（単位：円）

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	356,601,757	336,679,149	19,922,608	流動負債	42,327,526	37,962,555	4,364,971
現金預金	105,949,785	86,151,587	19,798,198	事業未払金	12,380,484	12,452,520	−72,036
有価証券	191,995,349	191,995,349	0	その他の未払金	14,957,582	12,553,558	2,404,024
事業未収金	58,056,623	58,532,213	−475,590	１年以内返済予定設備資金借入金	9,250,000	9,250,000	0
未収金			0	１年以内支払予定長期未払金	656,040	656,040	0
未収補助金	600,000		600,000	預り金	36,755	31,950	4,805
				職員預り金	5,046,665	3,018,487	2,028,178
固定資産	510,286,836	523,614,544	−13,327,708	固定負債	27,347,144	37,123,804	−9,776,660
基本財産	442,560,771	452,144,102	−9,583,331	設備資金借入金	0	9,250,000	−9,250,000
土地	215,100,000	215,100,000	0	退職給付引当金	25,597,704	25,468,324	129,380
建物	227,460,771	237,044,102	−9,583,331	長期未払金	1,749,440	2,405,480	−656,040
その他の固定資産	67,726,065	71,470,442	−3,744,377	負債の部合計	69,674,670	75,086,359	−5,411,689
建物	26,167,351	29,987,230	−3,819,879	純資産の部			
構築物	839,488	1,136,046	−296,558	基本金	288,190,183	288,190,183	0
機械及び装置			0	国庫補助金等特別積立金	162,042,643	168,993,882	−6,951,239
車輌運搬具	1,138,612	1,970,443	−831,831	次期繰越活動増減差額	346,981,097	328,023,269	18,957,828
器具及び備品	13,894,198	12,814,119	1,080,079	（うち当期活動増減差額）	18,957,828	−5,049,143	24,006,971
建設仮勘定			0				
退職給付引当資産	25,592,136	25,468,324	123,812				
その他の固定資産	94,280	94,280	0	純資産の部合計	797,213,923	785,207,334	12,006,589
資産の部合計	866,888,593	860,293,693	6,594,900	負債及び純資産の部合計	866,888,593	860,293,693	6,594,900

令和３年度

自　　令和3年4月　1日
至　　令和4年3月31日

事　業　計　画　書

社会福祉法人　山坂福祉会

特別養護老人ホーム	やまさわの里
短期入所生活介護（ショートステイ）	やまさわの里
通所介護（デイサービス）	やまさわの里
居宅介護支援事（ケアマネージャー）	やまさわの里

目次

目次 1
1. 経営理念 1
2. 行動方針 1
3. 運営方針 1
4. 今年度目標 1
5. 会議・委員会活動 2
6. 特別養護老人ホーム事業 5
7. 看護部門 8
8. 栄養管理部門 9
9. 短期入所介護事業（ショートステイ） 10
10. 通所介護事業（デイサービス） 11
11. 居宅介護支援事業所（ケアマネージャー） 13
12. 地域における公益的な取組 14
13. 防災対策 15

1.　経営理念

私たちは、利用者のために、利用者及び家族の「心からのありがとう」

という言葉に支えられ、「心からの笑顔」で介護サービスに努める

2.　行動方針

『感謝・笑顔・挨拶』

職場人として

①　人生の先輩に対して敬う心を忘れないようにしましょう。
②　職員や利用者様から「ありがとう」の言葉をよく耳にし楽しく働きましょう。
③　笑顔を忘れず、やさしい言葉づかいで相手の立場になって接しましょう。
④　仕事をする上で、人として成長していることを実感しましょう。
⑤　「ありがとう」と思う心を習慣づけることで穏やかな自分に変わりましょう。

3.　運営方針

「施設利用者の生活が、温かく家庭的な雰囲気の中で過ごすことができる」

施設は、地域社会の一員であるという考え方に立ち、地域の方々との交流を深め、施設のもっている機能を地域社会へ開放する等の社会化を目指した各種事業を積極的に展開するため、次の事業を重点的に推進する。

①　一人ひとりの思いを大切に、笑顔あふれる安心・安全なサービス提供の為、気配り心配りに努める。
②　住み慣れた地域で、誰もが生き甲斐を持ち安心して暮らせるよう地域貢献に努める。
③　嗜好を凝らした家庭的な食事を提供し「食べる楽しみ」を味わえるよう食生活の充実を目指す。
④　個人としての尊厳を守り、公平・公正なサービスを提供し、個人情報やプライバシー等の守秘義務を徹底する。
⑤　施設利用者の健康と安全を確保するため、衛生管理と防災管理を徹底するとともに、災害時の緊急支援体制の充実を図る。
⑥　職員の豊かな人間性と専門的な知識・技能を高めるための研修体制を充実させると共に組織の発展につなげる。

4.　今年度目標

「職員満足」や「お客様満足」を実践し、介護という職を通じて地域社会に貢献します。

5. 会議・委員会活動

(1) 管理者会議

① 介護報酬・収入に関する月次の予算と実績の検討を行う。
② 事業計画書及び収支予算書の検討と確認を行う。
③ 行事・会議・修繕・清掃等の日程の確認を行う。
④ 管理者のリーダーシップと人材育成を行う。
⑤ その他管理者会議で確認すべき事項

(2) 戦略会議

〔目的〕

施設全体、各部署で起こりうる問題を早期に把握し、解決へと繋げることを目的とし、各部署連携により職員が明るく働ける職場環境を作るため、次のことに着目して進める。

〔活動内容〕

① 人材確保・定着、人材育成、教育体制を充実させ離職防止に努める。
② 安定した収支を確保するため、業務の内容と検討の充実を図っていく。
③ 介護保険制度の情報を共有し、施設運営に活かす。
④ 介護報酬の加算取得において、算定要件等の適切な管理を行う。
⑤ 介護保険に関わる調査に対し、日頃から確認をする。
⑥ 職員の処遇、業務効率化、職場環境等の改善により介護サービスの資質向上に努める。

(3) 感染症対策委員会

〔目的〕

感染症等に対する抵抗力が弱い高齢者から感染症を守るため、施設における感染症、食中毒の発生、まん延防止に関する基本的な考え方を理解し委員会が中心となって職員の意識統一を図る。

〔活動内容〕

① 感染症に対する知識を再確認するため、感染症・食中毒ミニ研修の内容を充実させる。
② 感染症時期（10 月～3 月）は、発生を未然に防ぐため委員メンバーによる定期巡回を行う。（衛生管理チェックリストの利用）
③ 感染症マニュアルを各部署ごとに分かりやすく簡素化させ、施設独自のものを作成し、職員に周知する。
④ 感染症が発生した場合であっても、必要な介護サービスが提供できるよう研修や訓練（シュミレーション）を実施し、職員間の連携を図る。

(4) 事故防止・苦情解決委員会

〔目的〕

介護事故を未然に防ぐためリスク管理を徹底し、分析及び改善策の検討を行い、職員への周知徹底を図ると共に再発防止に努める。又、苦情にあたっては真摯に受け止め、適切且つ速やかな対応に心がけ解決へと繋げる。

〔活動内容〕

① 重大事故を未然に防ぐため、ヒヤリハットの周知徹底を図る。

② 利用者や家族とのコミュニケーションを密に図り、信頼関係を築くことで苦情防止に努める。

(5) 安全衛生委員会

〔目的〕

職場の衛生管理体制を確立すると共に、働きやすい環境と職員の心身の健康保持・促進を図り、安全に働くことができる職場環境を実現するために、改善及び予防に取り組む。

〔活動内容〕

① 職場内の環境を月 1 回チェックし、安全で働きやすい環境を作る。

② 交通安全に対する意識向上を図るため、DVD を活用した安全運転講習を必ず実施する。

③ 腰痛予防やメンタルヘルス対策の取組みに DVD 視聴やチェックシートを活用する。

④ 職員の健康診断再検査者へのフォローを行う。

⑤ インセンティブ制度に関る５つの強化指標を改善する。

(6) 身体拘束適正化委員会

〔目的〕

施設利用者の尊厳と主体性を尊重し、拘束を安易に正当化することなく、職員一人一人が身体的弊害を理解し、拘束廃止に向けた意識を持ち身体拘束をしないケアの実施に努める。

〔活動内容〕

① 不適切な行為などを職員が報告や通報しやすい体制を整える。（不適切ケア発見表の見直し）

② 職員アンケートを年 2 回実施することにより、各自のケアの振り返り、意識改善へと繋げる。

(7) 研修・広報委員会

〔目的〕

広報誌「やまさわの里通信」を作成し、施設を利用されている方々の近況報告とし

て、施設の生活をご家族の方々に少しでも知って頂けるよう情報を発信する。
また、職員のスキルアップに役立つ情報を共有し、専門職として知識・感性・技術を高めるため、毎月研修や勉強会を開催する。
〔活動内容〕
① 施設内研修の年間計画を立案し、研修内容の質を充実させ職員の資質向上に繋げる。
② 施設内研修（ミニ研修）の参加率８０％以上を目指す。
③ 広報誌「やまさわの里通信」を２ヶ月に１回とし、年６回発行する。

(8) 給食委員会
〔目的〕
ご利用者にとって楽しみである食事を美味しく、楽しく召し上がって頂けるよう委託業者も交えて、食事内容の評価、改善事項等を検討する。また、季節ごとに月々の行事食についても計画し実施する。
〔活動内容〕
① 嗜好調査内容を充実させ、利用者の意見を聞きやすくし食事向上を図る。
② 食中毒ゼロを目標に衛生面に配慮した食事の提供を目指す。

(9) 入所検討委員会
〔目的〕
施設入所に関わる指針および基準に基づき、入所決定過程において透明性、公平性を確保すると共に厳正に判定を行い、入所が円滑に実施できるよう随時審議する。
〔活動内容〕
① 入所に係る協議内容を記録した議事録を作成し、2 年間保存する。尚、必要な場合開示するものとする。
② 空床が生じた場合は、優先順位に従い速やかに入所への働きかけを行う。
③ 待機者の状態把握や情報収集を定期的に行う。
④ 新型コロナウィルス感染症が落ち着く迄は、入所が決定した際、状況により PCR 検査にて「陰性」であることを確認する。

(10) 親睦委員会
〔目的〕
職員相互の親睦を図ると共に、職員が明るく元気に和気あいあいと仕事ができることを目的として活動する。
〔活動内容〕
① 福利厚生センター事業、ソウェルクラブの各種サービスを利用する。
② グループ旅行の企画運営を行う。（新型コロナ感染症状況によっては中止）

(11) 行事委員会

〔目的〕

行事を通し生活に潤いと充実感を提供するため、利用者と職員が一体となって楽しめる行事を企画運営する。(施設全体の行事は委員会中心となって行う)

〔活動内容〕

① 各行事でのボランティアの参加を積極的に促し、連携した行事運営を行う。

② 11 月～3 月までの感染症時期は、特養とデイサービスで全体行事を別々の内容で行うため、担当委員の構成について考慮する。

全体行事計画

4 月	お花見ツアー	5 月	端午の節句　母の日
6 月	父の日　運動会	7 月	七夕会
9 月	敬老会	10 月	秋祭り
11 月	音楽祭	12 月	クリスマス会
1 月	新年会	2 月	節分祭
3 月	ひな祭り		

6. 特別養護老人ホーム事業

(1) 事業方針

住んでいる人と働いている人が幸せや喜びを感じる介護を行います。
長い人生の最期を不安なく引き受けることができるチームを作ります。

(2) 数値目標

稼働率年間平均 99%達成

(3) 介護職の具体的目標

① 自立支援介護・外出支援

自宅にいた頃のように、できるだけ目的を持ち、その人らしい自立した生活を可能にします。

機能訓練指導員の指示のもと、ADL の維持向上に努め、個別外出への支援を行います。

② グループケア、個別ケアの実践

利用者と職員が人として通じ合い、もうひとつの家族になれるよう細やかなケアを行います。

家族と職員が同じ方向性を持てるよう話し合いの場としてウェルカムカンファレンスを行います。

認知症の多様な症状に対応し、利用者主体の介護が継続できるよう各職員が認知症研修を受けます。

③ リスクマネジメント

リスクマネジメントを高め、利用者主体の安定した生活を支えます。

重大事故を回避する為、ヒヤリハットの活用と利用者の処遇改善に努めます。

④ 質の高いターミナルケアの実践

利用者・家族の想いを受けとめ、穏やかな最期が迎えられる施設であること。

⑤ 家族との連携・行事起案

家族とのつながりを深め、絆作りの後押しをします。

コロナ禍においても、可能な限り個別の希望を叶えます。

⑥ 職員研修

一歩進んだ介護ができるよう、スキルアップを忘れない。

⑦ 充実した勤務体制・業務分担

働いている人も居心地よくいられるような体制と環境を作ります。

⑧ 人材育成

丁寧な指導で成長できるプログラムを実施します。

(4) 委員会

① レクリエーション委員会

日々、楽しく豊かにいられるよう QOL の追求をします。誕生日を特別な日としてお祝いをします。

② 褥瘡予防対策委員会

職種間の連携を図り、健康維持に努め、早期発見、早期ケアで悪化させない褥瘡予防を目指します。

(5) 会議

① リーダー会議

特養業務に関わる決定・検討や職員指導等の協議を行います。

② グループリーダー会議

個別ケアを中心に情報共有や勉強会等を開催し、介護の質を向上します。

③ グループ会議

個々の利用者に視点を置き、その人らしく暮らせるよう支援を行います。

グループ内の業務の改善・検討を行います。

(6) ケアマネージャーの具体的目標

① 個別の施設ケアマネ計画の作成、自立支援のための課題の抽出、見直し
個別ケア計画に「暮らしの継続」や「その人らしさ」を反映します。

② 多職種との連携
利用者・家族の意向に沿った支援が行われるよう多職種と協議します。

③ 入退院支援
入院時、病院との連携を密にし、スムーズな退院支援が図れるよう進めます。

④ 入所支援
待機者の状態把握や情報収集を定期的に行い、スムーズな入所調整を行います。

⑤ LIFE の活用
多職種と連携し、LIFE による情報収集・活用を行い、ケアの質向上、業務効率化を図れるよう努めます。

(7) 生活相談員の具体的目標

① 利用者と家族との信頼関係
家族との信頼関係を築き、利用者・家族の意向に沿った支援をします。

② 介護人材育成
中学校や高校生などの実習生やボランティアを受け入れ、介護の良さを広め、次世代の育成に努めます。

特養行事とグループ別年間行事計画　令和３年度

	行事委員会	特養行事	まつ	そら	いちょう	さくら
4		花見 外食ツアー	花見 （駐車場の桜）	パン祭り	施設内 花見	いちごデザート 桜鑑賞
5	端午の節句 母の日		おにぎり パーティー	どら焼き作り	イチゴ パーティー	鯉のぼり見学 和菓子
6	運動会 父の日	春の遠足	お茶会（中庭紫陽花みながら）	プリンパフェ	ミニ運動会	物つくり さくらんぼ スウィーツ
7	七夕会		アイス パーティー	花火	かき氷	かき氷
8			駄菓子屋 さん	アイス パーティー	花火	アイス

9	敬老会		手作り クレープ	お好み焼き	茶道	プリン アラモード
10	秋祭り		ハロウィン パーティー	ハロウィン パーティー	ハロウィン パーティー	ハロウィン パーティー
11	音楽祭		芸術祭	リンゴ祭り	ヘッドスパ パック	りんご スウィーツ
12	クリスマス 会	忘年会	チーズ フォンデュ	忘年会	忘年会	クリスマス 会
1	新年会	元旦行事	新年会	おしるこ 甘酒	にごり湯	新年会
2	節分会		チョコ パーティー	チョコ パーティー	チョコ パーティー	チョコ パーティー
3	ひな祭り		どら焼き パーティー	コンビニ スウィーツ	スウィーツ	お好み焼き たこ焼き

7. 看護部門

(1) 部門方針

利用者の心身の安定を保ち、健康面と穏やかな老後を支えます。
介護職と看護職の連携を図り、お互いの専門性への理解や尊重の上で情報交換を行い、ケアをすることで的確な看護を行います。

(2) 数値目標

介護と医療の連携の中心となり、利用者の異常の早期発見に努め、入院者ゼロを目指します。

(3) 看護職の具体的目標

① 各グループに担当看護師を配置

情報交換しやすい状況になり、様々な問題の解決が介護職と看護職で協力できるようにします。

② ターミナルケア

利用者とご家族が穏やかな最期を迎えられるように、医師と施設スタッフとの

連携の中心となり、最期に寄り添う看護をします。

③ 医療機関との連携

医療機関との連携を図り、利用者の健康維持に努めます。

嘱託医･薬局の長期休暇時は､その時期のみ臨時内服薬を施設に常備することで、利用者の体調不良時に迅速に対応できるようにします。

④ 感染症予防対策

感染症対策委員会と連携し、新型コロナウィルス感染症をはじめ、すべての感染について「出さない・広げない・持ち込まない」を徹底します。

⑤ 褥瘡予防対策

褥瘡予防経過表を作成し、褥瘡予防対策委員会が中心となり、軽度の皮膚トラブルを見逃さず、早期に対応することで褥瘡形成を起こさないようにします。

⑥ ナース会議

医療・介護の問題点や改善点等の話し合いや情報の共有を図ることでより良い看護を目指します。

⑦ 夜間急変対応マニュアル

看護師不在の夜間も利用者の急変に早期に対応できるようにします。

⑧ 個別機能訓練

OT の指示のもと,個別機能訓練を実施し、身体機能、生活機能の維持・向上に努めます。

⑨ スキルアップ

最新の高齢者施設における医療や看護、感染症対策についての研修を受け、専門職としてのスキルアップを目指します。

(4) 機能訓練指導員（OT：作業療法士）の具体的目標

① 利用者それぞれの心身機能に合わせた機能訓練を行い、ADL の維持向上に努めます。

② 介護・看護等多職種間と連携し利用者が快適に生活できる環境作りを行っていきます。

8. 栄養管理部門

(1) 部門方針

介護予防の観点から、低栄養状態の予防･改善を徹底する為に栄養ケアマネジメントを実施します。栄養スクリーング、栄養アセスメント、栄養ケア計画・実施・評価を定期的に行い、個人に合わせた食事を提供します。

大量調理施設衛生管理マニュアルを基に衛生管理を行い、安心・安全な食事提供の出来る環境を保つことは勿論のこと、厨房より食中毒及び感染症を発生させないよう、自己の健康管理に細心の注意を払います。また、外部及び委託業者による立入検査を行うことにより、更なる衛生管理の徹底に努めます。

(2) 具体的目標

① 行事食・選択食の提供

食生活に変化をもたせ、季節の素材を生かした行事食となるように工夫します。年間行事計画にそって、各行事にふさわしい食事作りをします。

行事食

4月	お花見御膳	5月	竹の子ご飯・天ぷら等 母の日特別献立
6月	父の日特別献立 赤飯・鶏のから揚げ等	7月	ちらし寿司等 スタミナ献立（土用の丑の日）
8月	夏バテ予防献立	9月	赤飯･天ぷら等　ケーキ(おやつ)
10月	模擬店出店	11月	さつまいも・けんちん汁
12月	にぎり寿司・ケーキ 年越しそば等	1月	おせち料理 ちらし寿司
2月	赤飯・しもつかれ	3月	お刺身献立 まんじゅう（おやつ）

誕生会　　月に一回
選択食　　月に一回

② 嗜好調査

面接調査により､嗜好調査を行い食べたいものを把握し､メニューに反映します。

9. 短期入所介護事業（ショートステイ）

(1) 事業方針

一人ひとりの利用者様が住み慣れた自宅で、自立した日常生活を送れるよう、心身の状態を把握し、入浴、排せつ、食事等の介護、その他全般にわたる援助を行いま

す。また、在宅で介護にあたるご家族様の身体的、精神的な負担を少しでも軽くできるよう、様々なニーズにお応えし、ご本人、ご家族が安心できるケアを提供します。

(2) 数値目標

一日平均利用者数９．０名達成

(3) 具体的目標

① 稼働率の向上が図れるように、地域の居宅介護支援事業所に空床情報を提供すると共に、 緊急利用についても柔軟に対応して地域の要望に応えて行きます。

② 特養の行事計画と連動して、心身の状況を勘案し、その心身の状態に合ったレクリエーション及び生活の中でのリハビリを行い、利用者がもっている心身の状態を可能な限り低下させないよう努めます。

③ 健康管理については、看護職員等により個々の状態観察に努め、健康状況に注意するとともに、必要に応じて関係医療機関との連携を図り、入所期間中でも医療面において安心して生活ができるよう配慮します。特に、中・重度者、難病や末期の要介護者等に対するケアの充実を図ります。

④ ご家族の事情を考慮し、長期利用などの要望に柔軟に応えて行きます。

⑤ 各居宅介護支援事業者その他保健医療サービス又は福祉サービスを提供する者との密接な連携により、開始前から終了後に至るまで利用者が継続的に福祉サービスを利用できるよう必要な援助に努め、利用者の満足するような支援を行います。

⑥ 入退去時の手荷物の点検をしっかり行い、紛失及び忘れ物の防止に努めます。

10. 通所介護事業（デイサービス）

(1) 事業方針

利用者一人ひとりのニーズに合わせた目標を設定し、その実現に向けて心身の維持・回復・向上を図り、日常生活上の自立を援助するために、機能訓練や入浴・排泄・食事等の介護、その他日常生活上のサービスを提供します。また、地域との結びつきにも重視し、関係市町村保険者、居宅介護支援事業所、他の居宅サービス事業所、その他保険・医療・福祉サービスを提供するものとの密接な連携を図り、総合的なサービス提供に努めます。

(2) 数値目標

・一日平均利用者数　３０名

・利用者感染者　ゼロ

(3) 具体的目標

① 利用者の処遇向上

通所介護サービス計画に基づいて目標を設定するとともに、体調観察・運動・入浴・排泄・交流等の身体機能の維持や向上に取り組みます。

自立支援への取組では、安全性の配慮だけでなく定期的に話し合いの場を設け、目的を明確にすることに努めます。サービス内容を充実する為に、利用者の自己決定にも繋げる個別ケアを実施します。

② リスクマネジメント

ヒヤリハットの様式を見直し、対応策・起こりうる事故を予見し、安全の確保に心掛けます。

感染対策を徹底することにより、二次感染の予防に努めます。

送迎サービスによる、安心・安全な運転を心掛けます。

③ 職員の技術・知識の向上

細かいサービスやケア方法の質を向上し、思い込みがないように適宜情報を共有しながら質の高い対応の統一に努めます。認知症の方には、専門的な知識を活かしたサービスを提供します。

施設内の定期的な研修に参加し、職員全体の意識が高まるように努めます。

④ 地域交流と貢献

ネットワークや地域との関わりやすい環境整備をし、地域の方々との連携やサポート活動を援助します。

外出支援の年間計画を立てることにより、スムーズに外出することができ、利用者の期待感や楽しみが増え、地域の方と触れ合う機会を提供します。

⑤ 稼働率の維持・向上

利用者のニーズに応えるため、年末年始の稼働を継続します。

寒い季節の１月から３月は、感染予防から稼働率の低下が予想されるため、年間を通した稼働を常に意識します。

⑥ 利用者・家族との連携

安心・安全なサービス利用継続を図るため、各家庭での体調等の変化・情報を含め、感染者ゼロ・体調不良者の早期発見に努める環境と適切な判断をします。

(4) 委員会（毎月１回不定期開催）

① レクリエーション委員会

その月のレクリエーションについて反省し、次月のプログラムを考えます。

② 排泄委員会

自立支援に向け、利用者個々の排泄ケアの検討と見直しを行います。

③ 配車委員会

利用者個々の希望時間を配慮した能率よい送迎方法を検討します。

(5) 会議

① 朝のミーティング

利用者の状態把握と注意事項・送迎の確認等

② 夕のミーティング

利用者の状態報告・業務に関する報告等（新規契約・担当者会議等）

③ ケースカンファレンス

利用者の個別処遇の検討（随時）

④ スタッフ会議

日課及び処遇全般についての検討・見直し等

デイサービス全体行事

4月	5月	6月	7月
お花見会	自由喫茶	自由喫茶	キッチンカー 自由喫茶
8月	9月	10月	11月
自由喫茶	キッチンカー 自由喫茶	自由喫茶	りんご狩りツアー 自由喫茶
12月	1月	2月	3月
クリスマス会	初詣会	自由喫茶	自由喫茶

11. 居宅介護支援事業所（ケアマネージャー）

(1) 事業方針

在宅で生活されている方、またそのご家族の相談等に応じて必要な援助を行い、出来る限り在宅で、自立した生活を送れるように支援します。

利用者様の今まで培ってきた生活習慣を大切にし、その人らしい暮らしを支えます。

(2) 数値目標

・ケアプラン件数：130 件/月　年間：1536 件

・特定事業所加算Ⅱの取得

（6 月の実績より算定予定。月平均 123 件×400 単位×10 か月＝年間 492,000 単位）

(3) 具体的目標

① 特定事業所加算Ⅱの取得

・地域包括支援センターから困難事例の受け入れを継続し、毎月市へ報告書を提出する。

・毎週１回以上、事業所内でのケアカンファレンスを実施する。

・２４時間連絡体制を整備し、利用者様からの相談に応対する体制を整備する。

・他事業所と計画的な合同研修会を開催する。

・介護支援専門員ごとに、個別具体的な研修の計画の策定を実施する。

・介護支援専門員実務研修における基礎技術に関する実習受け入れ事業所として体制を整備する。

② コロナウイルス感染予防の徹底

・近隣の感染状況を早期に把握し、他部署への発信連携により感染拡大を防止する。

・自ら感染しない、持ち込まないなど、基本的な感染対策を徹底する。

12. 地域における公益的な取組

(1) 事業方針

地域において、様々な「生活のしづらさ（経済的困窮・病気やけが・独居高齢者等）」を抱えながらもどうしてよいか分からず、お悩みの方や必要な支援が受けられない方、孤立している方などに対し、社会福祉施設の持つノウハウや機能、ネットワークを活かして福祉に関する総合的な相談を実施し、サポートしていきます。

(2) 具体的内容

① 災害時相互援助協定を締結している熊倉四区と合同で、地域連携防災訓練を実施します。（令和３年 10 月予定）

② 栃木県の社会福祉法人による「地域における公益的な取組」推進協議会に加盟し、協議会が主催する「いちごハートねっと事業」の「おこまり福祉相談」の相談窓口として活動します。

③ 『ずーっとすもおか真岡』（生活支援体制整備事業日常生活圏域協議体真岡地区）のメンバーとして、地域ニーズの把握に努め、協議体活動に積極的に参加します。

④ ２９４たがやしＮＥＴの加盟法人として福祉避難所の運営訓練等、非常災害時の支援体制の構築について真岡市や益子町の社会福祉法人・ＮＰＯ法人等と連携し活動します。

13. 防災対策

業務継続に向けた取り組みの強化として、感染症や災害が発生した場合であっても必要なサービスが継続的に提供できる体制を構築する。

① 防災設備点検　年 2 回実施（専門業者に依頼）

② 自主防災設備点検　年 2 回実施（防火管理者が実施）

③ 消防訓練実施計画

実施月	予定時間	訓練内容
4 月	11:00	通報・消火・避難誘導訓練（夜間想定）
5 月	11:00	通報・消火・避難誘導訓練（夜間想定）
6 月	11:00	通報・消火・避難誘導訓練（夜間想定）
7 月	11:00	断水時生活用水確保の訓練・停電時シミュレーション（業務継続訓練）
10 月	11:00	地域連携防災訓練（地震想定）
3 月	11:00	総合訓練　通報・消火・避難・消火器操作（日中想定）

④ BCP（事業継続）計画書の策定